

愛知県グリーンボンド フレームワーク

2022年10月

愛知県

1. はじめに

(1) 愛知県の概要

本県は、国土のほぼ中央に位置し、三大都市圏の一角を占め、東名・名神といった高速道路、東海道新幹線、名古屋港、中部国際空港など、陸・海・空の優れた交通条件を有しています。

2019年度の県内総生産は40兆9,107億円であり、東京都、大阪府に次いで全国第3位となっています。本県は、自動車産業を中心とした我が国随一の製造業の集積地であり、製造品出荷額等の43兆9,880億円（2020年）は、1977年以来、44年連続全国1位で、2位以下を大きく引き離しています。一方、大都市圏にありながら、県土の約4割を森林が占めるとともに、魚介類の宝庫として知られる伊勢湾・三河湾に囲まれるなど、豊かな自然環境を有しており、農業産出額2,893億円（2020年）は全国8位と、有数の農業県でもあります。

このように、本県は日本一の産業県である一方で、2005年に「自然の叡智」をテーマに開催された愛知万博や2010年の生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）、2014年のESD ユネスコ世界会議といった、自然との共生や持続可能な地域づくりをテーマとした国際的なイベントや会議の開催実績を有し、これらを通じて培われた持続可能な社会に対する意識や環境技術などが財産となっています。こうした中、2019年7月には内閣府から持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い地域として「SDGs 未来都市」に選定されています。

(2) 環境への取組

本県では、愛知県環境基本条例第9条の規定に基づき、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、2021年2月に、第5次愛知県環境基本計画を策定しました。

本計画では、安全・安心の確保はもとより、地球温暖化対策、自然との共生、資源循環を統合的に向上させていくとともに、環境ビジネス振興による経済成長、グリーンインフラの推進によるレジリエンス（防災・減災）の強化などといった経済、社会との融合を図ることで、持続可能な社会づくりの国際目標であるSDGsの達成に向け、「環境と経済」、「環境と社会」が統合的に向上する「環境首都あいち」の実現を目指していきます。

【第5次愛知県環境基本計画】

◆重点的な取組分野

- (1) 地球温暖化対策
- (2) 自然との共生
- (3) 資源循環
- (4) 安全・安心の確保
- (5) 行動する人づくり

(3) グリーンボンド発行の目的

近年、世界各地で台風や集中豪雨、干ばつや熱波などの極端な気象現象による災害が頻発し、甚大な被害をもたらしています。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第6次評価報告書第I次作業部会報告書では、地球温暖化の原因について、「人間活動が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と評価報告書で初めて人間活動の影響を断定しており、地球温暖化対策は人類共通の喫緊の課題となっています。

本県では、脱炭素社会の実現を見据え、県債の投資家層の拡大により、安定的な資金調達を実現し、環境改善効果のある事業を着実に推進していくとともに、持続可能な地域づくりへの関心を一層高めていくため、グリーンボンドを発行します。

(4) グリーンボンドフレームワークについて

グリーンボンド発行にあたり、調達資金の使途やプロジェクトの評価・選定プロセス、調達資金の管理、レポートについて定めた「愛知県グリーンボンドフレームワーク」を策定します。

本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）による「グリーンボンド原則 2021」及び環境省による「グリーンボンドガイドライン（2022年版）」との適合性に対するオピニオンを株式会社格付投資情報センター（R&I）から取得します。

2. 調達資金の使途

調達資金は、以下のプロジェクトに充当される予定です。

	グリーンボンド適格 プロジェクト分類名	対象プロジェクト	想定される効果/ 環境面での便益	関連する SDGs
①	エネルギー効率	・信号機のLED化（交通安全施設整備）	・エネルギー消費量削減 ・温室効果ガスの排出量削減	
②	汚染の防止と管理に関する事業	・大気汚染監視施設整備	・高精度かつ安定的な測定結果の取得による生活環境の保全	
③	生物自然資源および土地利用にかかる環境維持型管理	・林道整備	・森林の有する多面的機能の維持増進	
④	生物多様性保全に関する事業	・干潟・浅場・藻場造成 ・魚礁漁場整備 ・増殖場造成 ・種苗生産施設整備 ・河川環境整備	・生物多様性の保全	

⑤	クリーン輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車の電動車化 	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの排出量削減 	
⑥	グリーンビルディング	<ul style="list-style-type: none"> ・県有施設の新築、改修 ※以下のいずれかの建物認証又は所在自治体による環境性能に関する確認を取得若しくは将来取得若しくは、更新予定の建物の建設又は内装・設備の工事若しくは更新にかかる費用 — CASBEE 建築における S ランク、A ランク、B + ランク — BELS における 3 つ星以上 — DBJ Green Building 認証における 3 つ星以上 — LEED 認証における Platinum, Gold, Silver — BREEAM 認証における Outstanding/Excellent /Very good — ZEB, Nearly ZEB, ZEB Ready, ZEB Oriented, ZEH-M, Nearly ZEH-M, ZEH-M Ready, ZEH-M Oriented 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費量削減 ・温室効果ガスの排出量削減 	
⑦	気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> ・河川海岸整備 ・砂防関係施設整備 ・農地防災対策 ・治山施設等整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・水災害など発生時の安全・信頼できる交通インフラの維持 ・水災害など発生時の浸水被害の軽減 ・土砂災害の軽減 	

3. プロジェクトの評価及び選定プロセス

グリーンボンドの資金使途とするプロジェクトについては、総務局が候補を抽出し、各局との協議を経て、選定しています。各プロジェクトの適格性の評価にあたっては、潜在的にネガティブな環境面の影響に配慮しているものであり、以下の項目について対応していることを確認しています。

ネガティブな影響を及ぼすリスク	対象事業	対応策
工事に伴う騒音・振動等	①③④⑥⑦	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自治体で求められる届出の提出 ➤ 環境アセスメントの手続き ➤ 地域住民への十分な説明 ➤ 低騒音・低振動型建設機械を使用するよう仕様書に明記
交換前の機器や設備の不適正処理による悪影響	①②⑤	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自治体で求められる廃棄手順の徹底
アスベスト等の有害物質の飛散	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大気汚染防止法、土壌汚染対策法、労働安全衛生法、廃棄物処理法等の適用法令に基づき、適正に処理されること等の確認
生態系への悪影響	③④⑦	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事業着手前の全体計画調査や環境アセスメントの手続き ➤ 猛禽類等の絶滅危惧種の生息情報があれば影響調査を行い、繁殖行動に影響を与えないよう配慮
労働安全面の配慮	①③④⑥⑦	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 受注者における安全施工措置等を定める

4. 調達資金の管理

(1) 調達資金と資産の紐付方法と追跡管理の方法

地方自治法に基づき、地方公共団体における各会計年度における歳出はその年度の歳入（地方債によって調達された資金もこれに含む）をもってこれに充てられます。また、個別の充当状況に関しては、各所管課と連携して総務局で把握を行い、発行超過等が起こらないよう管理します。会計年度の終了時には、対象プロジェクトを含む愛知県の全ての歳入と歳出について、執行結果と決算関係書類が作成され、県の監査委員による審査を受けます。その後、監査委員の意見とともに決算関係書類は県議会に提出され、議会の認定に付されます。

(2) 調達資金の追跡方法にかかる内部統制

グリーンボンドの調達資金については、年度終了後、対象プロジェクト名及び充当金額を取りまとめ、総務局長へ報告します。

(3) 未充当資金の管理方法

調達資金が充当されるまで、調達資金は本県の会計管理者が現金にて管理します。

5. レポートニング

(1) 資金充当状況レポートニング

対象プロジェクト及び充当金額を本県ウェブサイト上にて、起債翌年度に開示します。調達資金の充当計画に大きな変更が生じた場合や、充当後に充当状況に大きな変化が生じた場合は、速やかに開示します。

(2) インパクト・レポートニング

対象プロジェクトによる環境改善効果に関する以下の項目について、グリーンボンドの起債翌年度に開示します。

対象プロジェクト	レポートニング項目
・信号機のLED化（交通安全施設整備）	・整備実績 ・エネルギー削減量 ・温室効果ガスの排出削減量
・大気汚染監視施設整備	・測定機器の導入実績
・林道整備	・実施したプロジェクトの箇所数、箇所名、整備延長等
・干潟・浅場・藻場造成 ・魚礁漁場整備 ・増殖場造成 ・種苗生産施設整備 ・河川環境整備	・実施したプロジェクトの箇所名、整備面積・量、保全実績等
・公用車の電動車化	・電動車の導入実績 ・温室効果ガスの排出削減量
・県有施設の新築、改修	・整備施設名 ・認証等の取得状況
・河川海岸整備 ・砂防関係施設整備 ・農地防災対策 ・治山施設等整備	・実施したプロジェクトの箇所数、箇所名、整備面積、被害軽減効果等

6. 参考書類

1. グリーンボンド原則 2021（ICMA）
2. グリーンボンドガイドライン（2022年版）
3. 第5次愛知県環境基本計画
4. 愛知県SDGs未来都市計画（第2期）（2022～2024年度）
5. あいちビジョン2030

以上